

おおさか元気広場通信

平成 30 年 12 月 6 日

平成 30 年 12 月 6 日、泉南市立鳴滝小学校のおおさか元気広場を訪問しました。パソコンやタブレットを使って、学習や様々な活動を行っていました。

多様な活動を行う「子ども元気広場」

鳴滝小学校では、学校・家庭・地域の人たちが子どもの教育のために力を出し合う活動の場として「子ども元気広場」を開催しています。



「放課後学び広場」は、火曜日と木曜日の放課後に、子どもたちが漢字や計算プリントを使って学習します。丸つけスタッフとして学生サポーターも来ています。

「遊び広場」は、毎回様々な遊びや体験活動を行います。今回は、遊び広場を見学しました。

また、土曜日に様々な遊びや体験コーナーを準備して、たくさんの人たちと交流できる「土曜元気広場」も定期的を実施しています。ちなみに次回の土曜元気広場は「もちつき」をするそうです。

パソコンやタブレットを使った活動



訪問当日は、パソコンやタブレットなどの I C T 機器を使った活動でした。今年度から、月 1 回、パソコン教室で開催しています。教室には、17 台のタブレット、40 台のパソコンがありました。

指導主事を中心に、地域ボランティアの方がサポートします。

子どもたちは、計算やローマ字入力のソフトを使って楽しみながら繰り返し学習していました。また、学習ソフト以外にもインターネットを使ったりするなど、一人ひとりの子どもたちがやりたいことを自分で考えて取り組みます。

当日の参加者は 51 名。学童保育からの参加もありました。

全ての子どもたちが経験できる場を

この取組みは、学習のサポート面以外にも、I C T 機器を活用する力を向上させるという面でも効果があるとおっしゃっていました。

当初は「どう操作したらいいの?」という子どもたちからの質問がたくさんありましたが、毎月取り組むことで、今ではそういった声が少なくなってきました。

I C T 機器を活用する力は、今後ますます必要になってくると予想されます。学校や家庭だけではなく、元気広場で I C T 機器を活用した取組みを行うことは、全ての子どもたちが経験できるという点で非常に重要だと思いました。

小学生が元気広場のスタッフになる

見学中に校内放送が流れてきました。

「元気広場スタッフの児童は・・・に集まってください。」

なんと、鳴滝小の元気広場には、小学生のスタッフがいるそうです。当初は高学年限定でしたが、高学年以外の子どもたちから「やりたい!」という声が多くあがり、今では全学年から募集しています。たくさん子どもたちがスタッフとして活躍しているそうです。

参加するだけでなく、運営側としても子どもたちが活躍するしくみは素晴らしいなあと感じました。

